



宇都宮オリオン通り商店街(振) 入江 操 理事長

照明はランニングコストの軽減と地球環境を考慮して、LED照明に変更。夜間も3つおきに点灯し、通行者の利便や防犯に寄与します。

支柱のうち44本に新たに設置する「ルミキング」は、夕方や夜間でも目立つので、情報発信力を高めることができ、LED照明とともに街を文字通り明るくする効果を狙います。

また電動横断幕は、従来は高所作業車で設置していた横断幕を、スイッチ一つで上下させて、簡単に掲示できるようにします。これにより、イベント等の掲示広報が、従来よりもはるかに効果的に運用できることとなります。

「改修が行われれば、通りのイメージも大きく変わりますよ」とうれしそうに話す入江理事長。次の課題は、と水を向けると、「ハード面では道路の改修でしょうか。またソフト面では、この改修をチャンスとらえて、通りにお客様を呼び戻すことでしょうか」

宇都宮市を代表する商店街であるオリオン通りですが、今回の特集1で紹介した「通行量・来街者実態調査」を見ると、通行量も少しずつ減少するなど、長期的に低下しつつあることは否めません。その象徴が



アーケード完成図  
改修予想

空き店舗で、現在12店舗(平成23年1月現在)がシャッターを下ろしています。

「私もや東武馬車道通り、ユニオン通り、それに東武宇都宮百貨店で構成しているT・O・B・U活性化委員会が、商店街の枠を超えた広域連携を行っています。こうした活動をさらに進めていこうと考えています」

現在進行中、あるいは準備中の事業としては、次のようなものがあります。

●大型店との連携強化

東武宇都宮百貨店との連携をさらに強化し、空き店舗対策や商店街の商業集積などにつなげていきます。特に空き店舗へのテナント誘致のために、東武宇都宮百貨店を含めたプロジェクトチームの結成も準備しています。大型店と役割の分担や補完を押し進めることで、魅力的な商店街構築を可能にします。

●商店街一店逸品事業

個店の強化や販売促進につなげるためのもので、商店街の各店舗から専門品・逸品を提供できるよう、組織的に店舗強化策を構築し、平成24年度にはカタログ誌の発行をめざしています。

●周辺街区やコミュニティとの連携強化

周囲のまちづくり委員会やボランティア、NPO法人の方々と連携し、活性化の事業を行います。昨年は小学校から不要になった机や椅子を寄付してもら

02 再生へ、アーケード全面改修

特集 宇都宮オリオン通り商店街振興組合の取り組み

宇都宮オリオン通り商店街振興組合(入江理事長)では、この3月にアーケードの改修工事が完了します。同組合では以前から中心商業地活性化のための事業を行っています。今回の全面改修がさらなる飛躍になることが期待されます。

20年ぶりのアーケード大改修は、3年越しの準備

オリオン通りには「宇都宮オリオン通り商店街振興組合」と「オリオン通り曲師町商業協同組合」の2団体があり、それぞれがアーケードを設置していますが、今回改修を行うのは東武馬車道通りから釜川までの商店などで構成される前者のもので、長さは約266メートル、幅は11メートルです。現在のアーケードは平成2年10月に完成したもので、すでに20年を経過し老朽化も進んでいることから、今回の全面改修となりました。

同組合の入江理事長は「天井の素材であるポリカーボネードが耐用年数を過ぎ、色もくすんできましたし、紫外線防止の能力が低下してしまいました。そこで3年ほど前から準備をしてきました。もちろん国や県、市などにも協力をお願いし

てきましたが、昨年の8月頃にゴーサインを出せる状況にこぎつけたので、さうそく本格的な準備に入りました」と経緯を説明します。

今回は既存アーケードを取り壊しての新築でしたが、今回は構造体や仕上材はそのまま生かし、ポリカーボネード板の張り替えや照明の変更、そしてLED導光板(ルミキング)等を設置して情報機能と楽しさを強化します。

LED照明・情報パネルなどの導入でイメージ一新

- 主な改修点は、
- 天井(ポリカーボネード)の張り替え
  - 照明の変更や追加
  - 支柱にLEDの情報パネル「ルミキング」を設置
  - 電動横断幕の設置



のりど  
りオー  
ケード  
の現状

舗やオリオンスクエアなども利用しながら、さまざまな事業を行うことを計画中です。具体的には「ギャラリー・カフェ」などが検討されています。

また、同じオリオン通りを構成する「オリオン通り曲師町商業協同組合」とも共同で事業を行うことで、集客効果を高め、中心商業地域の一体感を促進します。すでに七夕や、一昨年から始まったフラッグアート事業などで連携が開始されており、昨年度には連携強化のための「オリオン通り商店会」も発足しました。

「宇都宮の中核商店街であるオリオン通りを活性化させることが、宇都宮の発展の起爆剤になると思います。できることは、結果を恐れず、どんどんやっていきたい」と、入江理事長。

今後、マンションへの居住者も増加が見込まれ、オリオン通りに期待される役割もさらに大きくなっていくことが予想されます。そのためにも、アーケード改修を契機に、より一層の連携強化と多様な事業展開が求められています。